

*執行状況などの金額は3月31日現在のものです。
 *1万円未満は四捨五入で表示しています。「市民1人当たり（の金額）」は、それぞれの額を、下記の人口で割っています。
 令和7年3月31日現在の人口 5万6,323人

問合せ 財政課
 (☎372-3311・内線3653)

歳入

375億7,864万円

国庫支出金 102億8,415万円
市税 85億8,243万円
地方交付税 53億451万円
市債 36億1,920万円
道支出金 20億8,033万円
その他 (地方消費税交付金など) 77億802万円

◆執行状況

区分	最終予算額	収入・支出済額
歳入	国庫支出金	102億8,415万円
	市税	85億8,243万円
	地方交付税	53億0,451万円
	市債	36億1,920万円
	道支出金	20億8,033万円
	その他	77億0,802万円
	合計	375億7,864万円
歳出	民生費	123億8,361万円
	土木費	73億0,212万円
	総務費	55億7,953万円
	職員費	39億6,505万円
	教育費	25億8,685万円
	公債費	24億9,266万円
	その他	32億6,882万円
	合計	375億7,864万円
	収入・支出済額	284億3,162万円
収入・支出済額	306億8,822万円	

3月末までの執行状況は、支出額に対して収入額22億5,660万円が一時的に不足していますが、各種基金からの一時的な借り入れなどで対応しています。



市税

収入済額
83億
1,674万円
市民1人
当たり
約15万円

家計における給料などに当たります。歳入予算全体の22.8%を占めています。

◆執行状況

区分	最終予算額	収入済額	収入率
市民税	個人	24億4,985万円	21億1,769万円 86%
	法人	7億7,450万円	8億3,235万円 107%
固定資産税	41億0,644万円	41億1,426万円 100%	
軽自動車税	1億4,459万円	1億4,992万円 104%	
市たばこ税	4億1,983万円	3億9,354万円 94%	
入湯税	2,643万円	3,122万円 118%	
都市計画税	6億6,079万円	6億7,776万円 103%	
合計	85億8,243万円	83億1,674万円 97%	

市債

家計の住宅ローンなどに当たります。公共施設整備などのため、市が借り入れる長期の借入金です。

残高 385億8,641万円 市民1人当たり 約69万円

区分	残高
一般会計	302億5,416万円
特別会計	
霊園事業	4,574万円
企業会計	
水道事業	21億9,336万円
下水道事業	60億9,315万円
合計	385億8,641万円

有価証券・出資金

有価証券	513万円	出資金	24億0,435万円
------	-------	-----	------------

基金

家計における貯金に当たります。特定の目的のために積み立てる資金です。

残高 53億1,001万円
市民1人当たり 約9万円



名称	残高
財政調整基金	26億4,061万円
減債基金	5億3,570万円
まち・ひと・しごと創生基金	4億2,265万円
北海道ボールパーク基金	2億9,863万円
学校教育振興基金	2億7,980万円
緑のまちづくり基金	1億4,176万円
その他	9億9,086万円
合計	53億1,001万円

特集 令和6年度 予算の執行状況

令和6年度予算の下半期（令和6年10月～7年3月）の執行状況がまとめられました。市民の皆さんに納めてもらった税金を、どのように使ったかなどをお知らせします。最終的な決算額は、5月31日までの出納整理期間を経て確定するため、今回掲載した金額とは異なります。決算の内容は広報北広島12月号に掲載します。

一般会計

福祉や教育など、市政運営の基本的な経費を計上する会計です。

当初予算額 285 億 7,221 万円

- + 令和5年度からの繰越予算額 42億2,994万円
- + 上半期の補正予算額 9億5,714万円
- + 下半期の補正予算額 38億1,935万円

歳入

JR新駅や市道などの整備に係る国庫支出金と市債のほか、物価高騰対策に係る地方創生臨時交付金などを増額しました。

歳出

JR新駅や市道などの整備費用のほか、物価高騰対策に係る住民税非課税世帯支援給付事業、基金への積立金などを増額しました。

最終予算額 375 億 7,864 万円

*このうち、令和6年度内に支出が終わらない予算22億1,494万円は、今年度に繰り越して事業を実施します。 (前年度比0.2%の増)

歳出

375億7,864万円

民生費
123億8,361万円

土木費
73億212万円

総務費 55億7,953万円

職員費 39億6,505万円

教育費 25億8,685万円

公債費 24億9,266万円

その他（衛生費など）
32億6,882万円

特別会計

特定の経費を、一般のものと区別して処理する会計です。

◆下半期の補正予算の状況

- 国民健康保険事業特別会計 3,273万円
- 介護保険特別会計 1億2,739万円
- 後期高齢者医療特別会計 1,172万円

◆執行状況

区分	最終予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険事業	65億9,456万円	60億2,845万円	61億8,757万円
霊園事業	4,642万円	1,576万円	3,248万円
介護保険	53億8,621万円	49億7,000万円	47億7,860万円
後期高齢者医療	12億0,155万円	10億8,698万円	11億4,320万円

企業会計

使用料収入などにより独立採算制で運営する会計です。水道事業会計と下水道事業会計があります。

◆執行状況

区分		最終予算額	決算額
水道事業	収益的	収入	14億3,493万円
		支出	13億9,681万円
	資本的	収入	6億6,890万円
		支出	9億9,622万円
下水道事業	収益的	収入	23億2,831万円
		支出	22億4,572万円
	資本的	収入	17億7,970万円
		支出	24億2,968万円